

2016年6月1日

富士重工業「自動車リサイクル法」による2015年度再資源化等の実績を公表

富士重工業は、自動車リサイクル法(使用済自動車の再資源化等に関する法律)に基づく2015年度(2015年4月～2016年3月)における再資源化等の実績を公表します。

2015年度の実績は、シュレッダーダスト^{*1}(以下ASR)では173,272台から27,935.5トン回収、27,243.3トンを再資源化しました。よってASR再資源化率は97.5%となり、2015年度法定基準である70%を達成しました。またエアバッグ類は130,009台から、360,882個を引き取り、27,052.8kgをリサイクル施設に投入し、25,251.6kgを再資源化しました。再資源化率は93.3%となり、法定基準の85%を達成しています。フロン類は147,108台から37,781.0kgを引き取り、適正に処理を行いました。

再資源化に要した費用は1,409,412,422円、資金管理法人から払渡しを受けた預託金は総額1,757,742,440円であり、リサイクル収支は348,330,018円の黒字となりました。

また、再資源化に要した費用の他に、自動車リサイクル促進センター^{*2}の運営関連費用79,275,110円、ASRの再資源化に関連する費用27,433,639円を負担しており、メーカーとしての全体収支は241,621,269円の黒字となりました。

富士重工業では自動車メーカーが主体で結成するART(自動車破碎残さリサイクル促進チーム)の一員としてシュレッダーダストの再資源化に取り組み、2011年5月にシュレッダーダストの埋立て処理ゼロ化を達成、現在も継続しています。

今後も富士重工業では使用済自動車から発生するASR、エアバッグ類、フロン類の3品目の引取・再資源化が確実かつ円滑に行われるよう取り組み、高い水準のリサイクル率を安定的に維持することを目指します。

「富士重工業 自動車リサイクル法について」HP

<http://www.fhi.co.jp/envi/recycle/index.html>

*1:使用済自動車から有用資源を回収した後に残る破碎残さ

*2:自動車リサイクル法で資金管理法人・情報管理法人の指定を受けている公益財団法人